

# H O YOG

教区新報

2008. 3 154号

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号  
(本願寺神戸別院内)  
電話 神戸(078)341-5949(代)  
【編集】教区基推委広報部

発行所

## 門信徒運動研修協議会開催

### テーマ「開かれたお寺」

平成20年1月24日(木)神戸  
戸別院本堂に於て、兵庫教  
区基推運動推進委員会主催  
の教区門信徒運動研修協  
議会が開催された。今回の  
テーマは、開催要項の「開かれ  
たお寺」で、ご講師は大阪教  
区中島東組瑞松寺住職の野

村康治師にお話をいただいた。  
先生は、連研中央講師をはじめ  
めびーラ活動推進委員、社  
会福祉法人至心会理事長、  
淡路介護老人福祉施設設  
長など各方面で活動される  
中で、出合った人の話を交え  
ながら「今は昔と違って、人の  
考え方が直線的になり答え  
をすぐに出そうとする、待つ  
ことができないような気性の  
人が増えているので、お寺など  
はそうした人々からは受け入  
れられなくなっているのでは  
ないか。」など、時代の変化に  
対応できない寺院活動や住  
職の意識に危機感を呈した。

また当日の参加者より教  
区門徒総代会代表の中西正  
一氏、教区仏教婦人会連盟  
から代表して新屋房子氏、教  
区門徒推進員連絡協議会代



門信徒運動の一環としてのキッズサンガ(若婦研修会)

表の坂本旭氏から、それぞれ  
意見発表をしていただいた。  
最初の中西氏は、「子どもの  
頃からお寺が遊び場で、自然  
とお寺の本堂で手を合わせ  
み教えを聞く人生を送らせ  
ていただいた。仏教壮年会活  
動や寺総代を務めてきたな  
か、お寺を今後子どもたち  
のためにどう変えていくか、  
施設の充実ができた現在そ  
のことが課題です。」と語っ  
てくれた。

二番目に発表していただい  
た新屋氏からはお寺はいつも  
集う場所であり、お香のかお  
りのする場所であらざるに  
もあると聞かせていただい  
ていますが、地域の若い婦人会

の人と話す機会があつて、お  
寺の仏教婦人会に今後入会  
しますかとたずねると、「入  
らないう、暗い難しいイメージ  
もつているので」と返事が返  
ってくる。若い人々が仏教に感  
心を持つような取り組みを  
お寺で開催して欲しい。コン  
サートや文化的な集いをテ  
マとしたものからでも、何か  
を始めないと徐々に無関心に  
なっていくのではないでしょ  
うか。と日頃の活動で感じら  
れている思いを発表していただ  
いた。

最後に坂本氏からは、お寺  
は生活環境の中心となってい  
る。いつも相談事はお寺へい  
くのが当たり前だが、現在  
はお寺に色々な相談を聞いて  
もらうことをしなくなってい  
るように思う。キッズサンガが  
開催され子どもたちがお寺  
へ集う時、親たちも一緒に参  
加すればと願っています。が、  
子どもとお寺と近くなりみ  
教えを聞かせていただくご縁  
が増えることが大切だと思  
います。以上、今回の開かれた  
お寺を築くというこのテーマ  
は、人々が時代の急激な変化  
の中で、生きる力をいつも取  
り戻し、見つめ直していき  
心の落ちつき場所お寺として  
どんな取り組みが大切なのか  
をいろいろと示唆していただ  
いた。

加古川組普光寺  
近藤 龍樹

神戸東組浄称寺 菊川義秀

教区だより		3月・4月	
3月 1日(土) コーラスフェスティバル 仏社幹部養成一泊研修会 別院第一土曜仏教講座	寺婦・仏婦 本山 亨氏 講師:藤原 亨氏	10:30~ 2日まで 13:30~	26日(木) 第139回定期教区会 10:30~
4日(日) 布教同志会研修会		終日	27日(木) 組長会 全国教区会議議長会第2回総会 本山 10:30~ 13:00~
5日(月) 寺婦研修旅行		6日まで	4月 5日(土) 別院第一土曜仏教講座
8日(土) ピハラーボランティア会議		11:00~	9日(木) 門徒総代会四役会 13:30~
11日(火) 社推協議員会		13:30~	15日(火) 別院常例法座 13:30~
14日(金) 蓮華会聞法つどい		13:30~	16日(水) 別院常例法座 13:30~
15日(土) 別院常例法座	講師:石田保孝師	13:30~	17日(木) 門徒総代会総会 13:30~
16日(日) 別院常例法座	講師:石田保孝師	13:30~	22日(火) ピハラー総会・公開講座 10:30~
17日(月) 布教使研修会	講師:梯 實圓師	終日	25日(金) 寺婦新旧委員総会懇親会 10:30~
19日(水) 別院彼岸会	講師:米田陸雄師・本川英暁師	21日まで	27日(日) 門推新旧幹事会 13:30~
24日(月) ピハラー役員会 門推幹事会		14:00~ 13:30~	30日(木) 仏婦 第22回恵信尼様顕彰・平和の日の集い 開法会館

一方、冷静で客観的な専門家  
としての判断と技術の駆使忘  
れない。両者を兼ねあわせた  
二・五人称の視点が必要なの  
です……」と。

お医者さんは病名としての  
死の判定はできるが、「私の親  
がなぜこんな目に遭わねばな  
らないのですか」との問いに対  
して答えを求められる現場は、  
実は僧侶としての日常にある  
のではないかと、その時にかに  
二・五人称の視点に立てるか  
と、僧侶としても色々な視座  
を頂いた。◆18日(日)都市開教  
対策本部事務担当委員会(本  
山)／寺婦・仏婦、正副委員長  
合同会議／青僧会、役員会◆  
20日(日)別院、別院仏婦報恩  
講◆21日(日)ピハラー、連区協  
議会(津村別院)／十方会総  
会◆22日(日)スカウト、役員会  
◆23日(日)基推、兵庫教区大  
遠忌法要委員会／基推、教  
区編成等基本問題に関する  
諸役会合／庶務、常備会／  
仏婦 委員総会／少年、役員  
会◆24日(日)基推、教区門信  
徒会運動研修協議会◆25日  
(日)庶務、近畿地区教区会議  
長・組長代表者・教務所長合  
同会議(奈良)◆26日(日)神戸  
中組大遠忌お持ち受け法要  
◆28日(日)保育、近畿、ブログ保  
育連盟連絡協議会(本山)◆  
31日(日)寺婦 委員総会

総代総参拝インターネット  
写真閲覧方法のご案内

昨年、別院で修行されました  
親鸞聖人750回大遠忌全寺院  
総代総参拝法要の写真は、パ  
ソコンにて閲覧できます。プリ  
ントすることも出来ますので  
御覧ください。

① インターネットアドレス  
<http://www.sunov.photos.cc/login.php> ログイン。  
② 画面中央に表示の「お手  
数ですが」をクリックして  
下さい。「ここ」をクリックして  
下さい。  
③ 画面左の会員ログイン(青  
色アイコン)をクリック。  
④ 画面左の会員ログインID  
に [kobehin@gmail.com](mailto:kobehin@gmail.com)、  
パスワードに [mondanda@gmail.com](mailto:mondanda@gmail.com) と入  
力してログイン。  
⑤ 画面左上の「写真の整理」  
をクリック。(画面に12画像表  
示されます)  
⑥ 画面右下「アルバム」の整理  
の中から見たい日付け(10月  
1日〜5日)を選んで(複数  
選択可)をクリック。  
⑦ 12画像中の左上の画像  
をクリック。画像が拡大表示  
されます。プリント希望の画  
像があれば画面右上の画像  
情報の数字4桁のみお控えく  
ださい。

⑧ 画面右下の「次へ」をク  
リック。拡大表示画面が変わ  
ります。  
⑨ 12画像チェック終わりま  
したら、画面右下隅の「X」をク  
リック。再び6画像表示の画  
面に戻ります。  
⑩ 画面下中央の次へをク  
リック。新たな12画像表示の  
画面になります。  
⑪ 上記⑦から⑩を繰り返し返  
して下さい。  
⑫ プリント希望は、画像番  
号・枚数をまとめてご記入の  
上、アクセスにてご注文して  
ください。  
アクセス番号  
(078)341-8526  
兵庫教区教務所

第19期「ピハラー活動者  
養成研修会」  
受講者募集

①名 称 第19期「ピハ  
ラー活動者養成研修会」  
②開催期間 2008(平  
成20)年5月〜2009(平  
成21)年3月(1年間)  
③開催場所 「基本学習会  
本願寺研修道場(習礼教  
修所)」「実習・受講者近隣  
施設並びにピハラー本願寺」  
④募集人員 50名  
⑤送付書類 「募集要項・  
日程」「受講願・履歴書」「レ  
ポート」「カリキュラム」「実  
習実施要項」他3部  
⑥お問い合わせ  
教務所  
日溪まで

敬 吊

杵築 ちとせ(佐用組常徳寺  
前々坊守)12月1日、100歳で  
往生  
森本 美榮子(阪神南組萬照  
寺前坊守)12月14日、96歳で  
往生  
光山 一則(神崎組西正寺住  
職)1月3日、86歳で往生  
山本 正秀(岡山北組宝福寺  
衆徒)1月4日、80歳で往生  
西岡 雅(多紀組浄福寺前坊  
守)1月4日、87歳で往生  
柴田 多智子(神明組憲成寺  
衆徒)1月10日、72歳で往生  
尾野 千恵野(揖龍東組西福  
寺前坊守)1月11日、93歳で  
往生  
杉本 顯俊(阪神北組光圓寺  
前住職)1月22日、84歳で往  
生  
谷川 眞淳(神戸湊組高松寺  
前住職)1月27日、91歳で往  
生  
千輪 聖子(岡山南組光清寺  
坊守)1月24日、83歳で往生  
鍋島 多喜子(神戸中組眞覺  
寺坊守)2月1日、73歳で往  
生  
\*2月13日現在



国から宗  
教の公益性  
が否定され  
た。宗教の  
現在存在  
は公益なも  
のに値しないと社会が判断し  
たのだ。菩薩乗を掲げる浄土  
教にとつてそのことは存在の  
否定にも等しい。由々しき問題  
である。☆先般、J.R.西日本福  
知山線の脱線事故の反省の中  
から「第一の被害者」と呼ば  
れる大災害や大事故の遺  
族の方の心のケアのプロジェクト  
が救急医療と同じぐらい大  
切な医療として考えられ、そ  
して作られた。そのチームも具  
体的にメンバー構成が考えら  
れ、作られたと聞いた。しかし、  
その中に宗教家の名前は無く、  
今後はいる予定も無い。☆パ  
ンフレット「キッズサンガのす  
め」の中のメッセージにご門主  
様はこう書かれている。「子  
どもたちとともにすべての人  
びとの居場所になれるお寺  
に」という願いが込められて  
いると思います。「これこそ公益  
性以外の何ものでもありません。  
☆宗教には公益性がない」と判  
断された今、その原因を作っ  
た私たちがその公益性を改  
めて社会に認識してもらう足  
がかりを作らなければいけな  
い。キッズサンガやピハラーはそ  
の挑戦であると私は捉えてい  
る。

# どうして今、正定聚なの？

神姫組 光輪寺 衆徒 棚原 正智

今年から私たちの兵庫教区では「現生正定聚」を多くの人々に伝えようという目標を掲げています。

「……？」

私だけかもしれませんが正直なにか良く解らないです、いろんな意味で。

それで今回は、私的に解らない「いろんな意味」を考えてみたいと思います。

まず、どうして今現生正定聚という言葉の問題にしないといけないのかということでは、今、その現状を考えると、

「……？」

私だけかもしれませんが正直なにか良く解らないです、いろんな意味で。

それで今回は、私的に解らない「いろんな意味」を考えてみたいと思います。

うな方は結構おられて、かく言う私も同じような思いで若い頃は過していました、お寺はお年寄りの来るところ、お年寄り死を考える年代と勝手に自分の中に図式が出来上がっていたように思います、今考えるとなんて失礼な図式なんですか。それが少し変わったのが京都にある中央仏教学院、通称中仏で真宗の勉強をするようになってからです。

しかし、変わったのは少しだけだった様な気がします。蓮如様の「朝には紅顔ありて、夕には白骨となる身なり」という白骨の御文章を読んでみて、死というのはいつ訪れるものか判らないからなあと思いついて、和上様がよく言っておられた「今が臨終」という言葉に出逢い、私も死という事柄が判らない今を生きているんだなあと、思うようになってきました。

と、こう書けば浄土真宗的にも仏教的にも合格なんだろうが、私は残念ながら合格点には今一つ届いているように感じます。遅くまで話し合った。翌日には青年会恒例となりつつあるバドミントン大会で大いに盛り上がった。仏教青年連盟はこの冬、2月、3月にも研修交流会を開催予定。初めての研修会、23日〓仏青、研修会〓仏社、常任理事会〓仏社、理事會〓25日〓青僧會、第5回連続研修會(岡山)〓基推社、会对應部會〓26日〓基推、現生正定聚講師協議會〓27日〓事務終了〓31日〓別院、除夜會

1月1日〓別院、元旦會〓8日〓事務開始〓9日〓仏青、役員會〓12日〓別院参拝、鹿児島教区川内組願船寺〓15日〓別院、常例法座、講師は、城崎組本誓寺堀川宣裕師、講題は「現生正定聚」16日まで〓17日〓基推、三団体合同研修會

去る、一月十七日(木)社会对應部會、社推協兵庫支部、ビハラ兵庫の三団体による合同研修會が行われた。この日は、神戸では「防災の日」と定められており震災から13年が経過した今も人々の心には深い傷跡が残っている。「あの時、私が手をもしたら」「あの時、僕が傍に居たら」「あの時……」そんな声を今でも耳にする。

うにはありません。それは、先ほど「思うようになりました」と書いていますが、これは少し言葉が省略されていて正しくは「私も死という事柄が判らない今を生きているんだなあと、思うように「努力しよう」と心がけるように」になりました。「というのが正確です。まあ、中仏を卒業してから年月が経っていますので、少しは合格点ラインに近づいているかも知れませんが、満点を取っているかという点ではそうではないです。なぜなら、私の手帳には2010年の予定が書き込んでありますから、これに今が臨終という言葉と矛盾しているように思うのです。」

結局、これらのことは、お寺参りはまだ早いということを含めて、軸足がぐらついた後に掛かっているからではないでしょうか。臨終と言ったところで考えているのは、亡くなった後に阿彌陀様のお浄土へ生まれさせてもらうという臨終以後のことと捉えているように思えます。こう捉えてしまうと、今生きているこの時とは別次元の話になってしまいます。どうもこの辺りに問題があるようです。かつて「土曜安心」という言葉を聞いたことがあり



AEDの使用方法について学んだ

情報の発信」を望んでいる。普及し始めているAEDの使用法や臓器移植の意思表示(賛成・反対どちらにしても)の必要性などを設け、広めてほしいと現場の声を聞いた研修会であった。〓阪神・淡路大震災物故者総追悼法要の開催した。法要では正信偈をお勤めし、別院総代でもある貝原前知事を始め参列者全員が震災で亡くなられた方々を偲び焼香された。法要後、松村彰道別院輪番は「毎年1月17日午前5時46分は、忘れることのできない時間でありませう。6、5000名を超える尊いいのちを奪い去ったあの震災から早や13年が過ぎました。かけがえのない家族を亡くされたご遺

族の方々には、月日がどれだけたとうとも昨日の事のように思い出され、涙が流れることはないのではないかと拝察申し上げます。愛するものとの別れは、さまざまに苦しむものでしょう。別れていった父母や、子や孫は私たちがこの生涯の中でめぐり会ったたかけがえのないものです。震災という突然の出来事ではありませうが、この別離を通して「いのちとは何か」を深く考えて頂きたいと存じます。」との挨拶をさせていただきました。

今年からの取り組みとして、同じ震災の被災地にある宗門関係学校から、「いのちの尊さ」についてのテーマで原稿募集し、17人の原稿から、藤門翔平さん(神戸龍谷高校二年)、小林美樹さん(須磨ノ浦女子高校一年)、切通綾子さん(兵庫大一年)の三人に代表で朗読をしていただいた。

心臓停止後3分で50%死亡、呼吸停止後10分で50%死亡という現実を知り、応急処置の大切さ、放置する怖さを感じた。色々な機会で心肺蘇生等を習ったが現場に直面したとき実働できるだろうか？また、救急車出動の6割が病院に搬送する必要があるという問題も知った。救急医は、門徒(信者)や集合できる場所がある宗教者に対して「正確な

本願寺神戸別院では例年の通り「阪神・淡路大震災物故者総追悼法要」勤修し、併せて「いのちを考える研修会」を開催した。法要では正信偈をお勤めし、別院総代でもある貝原前知事を始め参列者全員が震災で亡くなられた方々を偲び焼香された。法要後、松村彰道別院輪番は「毎年1月17日午前5時46分は、忘れることのできない時間でありませう。6、5000名を超える尊いいのちを奪い去ったあの震災から早や13年が過ぎました。かけがえのない家族を亡くされたご遺

族の方々には、月日がどれだけたとうとも昨日の事のように思い出され、涙が流れることはないのではないかと拝察申し上げます。愛するものとの別れは、さまざまに苦しむものでしょう。別れていった父母や、子や孫は私たちがこの生涯の中でめぐり会ったたかけがえのないものです。震災という突然の出来事ではありませうが、この別離を通して「いのちとは何か」を深く考えて頂きたいと存じます。」との挨拶をさせていただきました。

今年からの取り組みとして、同じ震災の被災地にある宗門関係学校から、「いのちの尊さ」についてのテーマで原稿募集し、17人の原稿から、藤門翔平さん(神戸龍谷高校二年)、小林美樹さん(須磨ノ浦女子高校一年)、切通綾子さん(兵庫大一年)の三人に代表で朗読をしていただいた。

「い」のちを考える研修会」には「阪神淡路大震災10年」や「犠牲(サクリファイス)わが息子・脳死11日」等々の著書など、震災やいのちの根源医療事故などについても広く社会に訴え続けておられる作家の柳田邦男氏をお迎えした。柳田氏は講演の中で、「二五人称の視点」ということにつ

い、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、

い、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、

い、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、せいで死が近くなってきたら、お寺の葬儀と法事という死んだ後用事があるので、生きてる間はそんなに関係がない、

本堂で講演する柳田氏



僧侶研修会「現生正定聚」の様子



◆11月1日(日)ビハラ、20周年記念大会(本山) ◆2日(月)基推、同朋運動部門会議／基推、企画常任委員会／基推、大遠忌お待ち受け全寺院

総代総参拝実行委員会 ◆3日(火)別院、第一土曜仏教講座、講師は浄土真宗本願寺派式務部会行事、今小路寛真師、講題は「仏事から見えてくるもの」 ◆5日(木)青僧会、役員会 ◆6日(金)別院、玉津中

学校郊外学習／仏婦、第32回近畿地区仏教婦人研修会、7日まで(奈良)／門推、幹事会／基推、教学伝道部門会議 ◆7日(土)別院、別院仏教婦人会定例法座、講師は穴栗組教専寺大西宝雲師、講題は「現生正定聚」 ◆8日(日)別院参拝、播磨中組総代会／

基推、第1回連研のための研究会 ◆10日(水)別院、モダン寺土曜子ども会 ◆11日(木)別院参拝、滋賀教区志賀組本福寺 ◆12日(金)少年、役員会／別院参拝、大阪教区石川南組 ◆13日(土)別院参拝、安芸教区沼田組浄栄寺仏教婦人会 ◆14日(日)別院参拝、鹿兒島教区鹿兒島組善福寺／別院参拝、大阪教区三郡組萬福寺 ◆15日(月)別院、常例法座、講師は神戸湊組高松寺

谷川弘頭師、講題は「現生正定聚」16日まで ◆16日(火)別院参拝、山手小学校／別院参拝、北山小学校 ◆17日(水)仏教音楽儀礼研究所委託研究員、鹿多証道師に仏婦の参加者は讃歌指導をいただいた。曲目は「花のころ」、南莊先生が作曲された曲を偶然選んでおり、一緒に体験参加でき

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

定聚」16日まで ◆16日(火)別院参拝、山手小学校／別院参拝、北山小学校 ◆17日(水)仏教音楽儀礼研究所委託研究員、鹿多証道師に仏婦の参加者は讃歌指導をいただいた。曲目は「花のころ」、南莊先生が作曲された曲を偶然選んでおり、一緒に体験参加でき

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参



満堂となった「若婦人のつどい」

をはじめ、その他多数のお供物を「ご進納いただき、ご尊前にお供えするなど、法要に一層華やかさを添えた。法要期間中滋賀教区神崎組金剛寺武田智徳師にご法話をいただき、僧侶問わず多くの方々から聴聞、さらには27日・28日の両日、教区仏婦と寺婦による「仏教讃歌の集い」も開催された。同日別院仏婦の方々協力のもと開催されたチャリティ「バザー」の収益金は浄土真宗本願寺派「たすけあい運動募金」に寄贈された。

★「たすけあい運動募金」の目的【この運動は、1973(昭和48)年に厳修された親鸞聖人御誕生80年・立教開宗750年慶讃法要を機縁に、「このよこびを人々に」をスローガンに、はじめられ、人権擁護・平和・環境保護問題に視点を置き、社会的に活動している諸団体に、対して支援を行うことにより、「御同朋の社会」の実現をめざすことを目的とする。(浄土真宗本願寺派たすけあい募金規約 第三条抜粋) ◆29日(日)別院参拝、大阪教区河

中北組浄福寺 ◆30日(月)別院、教区仏婦幹部同朋運動研修会、12月1日まで ◆12月1日(火)別院、第一土曜仏教講座、講師は龍谷大学教授鍋島直樹師、講題は「宮沢賢治の生命観—みんなのほんとうのさいわいをさがしに」／門推、門推の日100回記念式典／別院参拝、奈良教区葛城中組明圓寺法り会／仏婦、阪神北組仏社組織拡充研修協議会(阪神北組光園寺) ◆2日(水)別院参拝、大阪教区石川南組専念寺 ◆3日(木)少年、役員会／基推、新あついで壁上映／基推、社会対応部会長来院／ビハラ、役員会 ◆4日(金)護持口数調整委員会／庶務、常備会／布教団、役員会 ◆5日(土)別院参拝、播磨中組総代会／

基推、第1回連研のための研究会 ◆10日(水)別院、モダン寺土曜子ども会 ◆11日(木)別院参拝、滋賀教区志賀組本福寺 ◆12日(金)少年、役員会／別院参拝、大阪教区石川南組 ◆13日(土)別院参拝、安芸教区沼田組浄栄寺仏教婦人会 ◆14日(日)別院参拝、鹿兒島教区鹿兒島組善福寺／別院参拝、大阪教区三郡組萬福寺 ◆15日(月)別院、常例法座、講師は神戸湊組高松寺

谷川弘頭師、講題は「現生正定聚」16日まで ◆16日(火)別院参拝、山手小学校／別院参拝、北山小学校 ◆17日(水)仏教音楽儀礼研究所委託研究員、鹿多証道師に仏婦の参加者は讃歌指導をいただいた。曲目は「花のころ」、南莊先生が作曲された曲を偶然選んでおり、一緒に体験参加でき

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参

る讃歌指導の時間は盛り上がりを見せた。子どもたちには閉会式前に、キッズサンガのなかで仏教讃歌「しんらんさま」と「ありがとう」の2曲を練習、お母さんたちの前で発表してもらった。この2曲は子ども1人が「お母さんが日ごろお寺のコーラスグループに参加してこの曲を歌っているから、今日いっしょに歌いたい」という希望から曲目が決まった。研修会では若い仏教婦人向けに和やかに、そして固いお話にならないよう、講師にもお願いをしていただいたが、そうやって「お寺で気安く足を運ぶところなんだな」って思っていたかどうか、開かれたお寺、子どもの声がするお寺になる第一歩になるのではないかと。別院参